

銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*メール配信をご希望の方はお知らせください*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々に送っています*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

6月15日、紙パルプ会館銀座フェニックスプラザにて、2016年度・銀座街づくり会議の活動報告会を開催しました。主な内容は、1) 2016年度の活動報告+今後の活動計画について、2) 銀座デザイン協議会 デザインレビュー、3) 銀座まちづくり 2nd フェーズ、の3つです。

谷澤信一評議会議長の挨拶に始まり、事務局長・竹沢えり子より活動報告と活動計画について、小林博人さん（慶應義塾大学教授）のデザインレビュー、蓑原敬さん（都市プランナー）小林博人さん、中島直人さん（東京大学大学院准教授）、岡本圭祐街づくり委員長のパネルディスカッションがありました。



「銀座街づくり会議」: 報告会

銀座まちづくり 2nd フェーズ + デザインレビュー2017



2016年度の活動報告と今後の活動計画について

2016年度は、①交通、②動画や動く光と街並みとの関係、③銀座にふさわしい宿泊施設のルール導入、④路上喫

煙・吸い殻のポイ捨てへの対応、⑤財源確保の5つを大きなテーマとして活動してきました。

交通については、築地移転が延期となり、都や区の動きを注視しています。2016年度は、2020年オリパラ時のBRT走行を要望しつつ、タクシー乗降禁止ルールの見直し要望や、違法駐輪対応、パーキングメーターにおける荷捌車両への対応を議論しました。交通問題は銀座だけでは解決できません。今年度も、区や都、国と連携し、時間をかけて取り組みます。

三原橋の落橋工事も始まりました。晴海通りを横断できる地下通路を残すよう要望しましたが、技術的に不可能であることがわかりました。地上の丸く膨らんでいる部分の活用はまだ決まっていません。東京都には、観光案内所を設ける、BRT等の将来の公共交通の駅+待合所空間とする、小さな公園のような空間にするといった提案を盛り込み、要望書を提出しました。

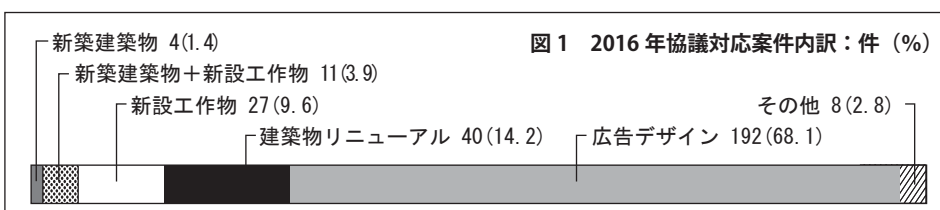
財源確保については、2016年度は商店街フラッグ事業の手法を使い、銀座通り・晴海通り・西銀座通りに広告付きフラッグを掲出しました。今年度もフラッグ事業と並行して財源確保の方法を模索します。

銀座デザイン協議会 デザインレビュー

2016年度、銀座デザイン協議会では282件の協議に対応しました。動画や動く光と街並みとの関係については引き続き議論を重ねています。動画だからNGという考え方ではなく、新しい技術や事業主・デザイナーの創造性に期待し、良いものは積極的に受け入れる姿勢を建築や広告、動画、動く光など、街並みのすべての要素に貫きたい考えです。

銀座まちづくり 2nd フェーズ

2003年に銀座に提案されたGINZA SIXの計画を契



機として、2004年に銀座街づくり会議が設立され、2006年には地区計画の改正、そして銀座デザイン協議会が設立されました。銀座地区最大規模の商業施設となったGINZA SIXが完成した今、銀座まちづくりは一つの節目を迎えています。

岡本委員長は、この14年間を振り返り、「根本的な枠組みや現在までの積み重ねを今後も踏襲する。そのうえで、街の新陳代謝として重要な新規事業者には、銀座の倫理観や感性を共有してもらい、同じ方向を向いて商業地として繁栄を続けたい」と話しました。1stフェーズでは、目の前の課題に対してその都度議論を行い、状況に合わせて柔軟に対応してきました。一方で、個別の提案を受け入れながらその都度対応していくという仕組みには、法律的な弱さによる危うさがあります。蓑原さんは、「海外資本の流入等により、これまでの銀座まちづくりの倫理観を共有できなくなる時がくる。今後もこの仕組みを持続させるには、区や都、国とどのような関係を構築していくのかを考えなくてはならない。この14年で蓄積された銀座まちづくりの哲学を確固たるものとして発展させていくことが2ndフェーズでは求められている」と語りました。

これに対し小林さんは、「新しい人やアイデアが街に入ることは「革新」であり、銀座はこの「革新」とともに銀座の「意思」を継承しながら緩やかに変化してきた。銀座で商売を営む人の意志や顔が見える、1対1の関係をどうつないでいくかが重要ではないか」と語りました。最後に司会進行の中島さんは、「丁寧な議論の蓄積が銀座街づくりの土台である。これを継承しながら「革新」を続け、さらに発展、高めていくことが2ndフェーズで問われている」と締めくくりました。